**令和７年度「知財を企業の強みに！「稼ぐ力」向上プロジェクト**

**応募用紙**

令和７年　　月　　日

**１．企業概要**

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな |  |
| 企業名 |  |
| 所在地 | 〒　　　　－　　　　 |
| 最寄駅 | **（最寄駅・バス停）**　　　　　　　　　　　　　駅・停**（路線名）**　　　　　　　　　　　　線　　　　　　　　　　　　より徒歩　　　　　　　分 |
| URL |  |
| 連絡担当者 | 所属 |  | 役職・氏名 |  |
| TEL |  | E-mail |  |
| 従業員数 | 　　　　　　　　　名 | 資本金 | 　　　　　　　　　　　　　　円 |
| 設立 | 　　　　　　　　　年 |
| 業種 | 　　　　　　　　　業　（主要商品・サービス等：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 年商(直近３年） | 　　　　　　　年： 　　　　　　　　　 円　　　　　　　年： 　　　　　　　　　 円　　　　　　　年： 　　　　　　　　　 円 |
| 主要事業の概要 |  |
| 主要事業の詳細 | ①主たる顧客の属性（業種・規模（BtoCの場合は年齢層等）、お客様の困りごと・ニーズ等、主要なお客様のイメージがわくよう記載ください。）②競合他社の存在（認識している競合他社の存在有無、自社との違い等を記載してください。）③自社の特徴（自社のビジネスの流れや強み・弱み等を整理してください。）④【任意でご記入ください】　気になっている社会動向変化（自社にとって有利となる変化、脅威となる変化について気になっていることがあれば記載してください。） |
| 産業財産権※わかる範囲で構いません |  | 特許 | 実用新案 | 意匠 | 商標 |
| 取得済 | 　　　　　件 | 　　　　　件 | 　　　　　件 | 　　　　　件 |
| 出願中 | 　　　　　件 | 　　　　　件 | 　　　　　件 | 　　　　　件 |
| 産業財産権のライセンス状況※わかる範囲で構いません | ライセンス済み | 　　　　　件 | 　　　　　件 | 　　　　　件 | 　　　　　件 |
| 今後のライセンス予定 | 　　　　　件 | 　　　　　件 | 　　　　　件 | 　　　　　件 |
| 専門家活用経験 | □　個別に専門家と契約をして活用したことがある（あてはまる場合、以下にもチェック）　　　□　弁理士　　□　弁護士　□　中小企業診断士　□　税理士　　　□　その他コンサルタント等（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　公的支援事業で専門家を活用したことがある（あてはまる場合、以下にもチェック）　　　□　弁理士　　□　弁護士　□　中小企業診断士　□　税理士　　　□　その他コンサルタント等（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　専門家の活用経験はない |
| お付き合いのある支援機関 | □　INPIT　　□　金融機関（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　自治体　□　商工会・商工会議所　□　よろず支援拠点　□中小企業団体中央会□その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**２．公的支援の採択歴と企業認定について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 公的支援の採択歴（採択歴がある場合にご記載ください。わかる範囲で問題ございません） | 事業名 | 採択年度 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 企業認定等 | □　地域未来牽引企業に選定されている（選定されている場合、認定年度：　　　　　　　）□　その他の企業認定等を受けている（認定名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　、認定年度：　　　　　　　　）□　企業認定等は受けていない  |

**３．応募用紙のご記入者**

|  |
| --- |
| 応募用紙のご記入者についてご記載をお願いいたします。１．にてご記載いただいた連絡担当者と同一の場合は、右記のボックスに✓をご記入ください　□　１．にてご記載いただいた連絡担当者と異なる場合は、ご連絡先を下記にご記載ください |
| ご所属 |  |
| ふりがな |  |
| お名前 |  |
| 所在地 | 〒　　　　－　　　　 |

**４．応募理由等**

|  |  |
| --- | --- |
| 応募理由現在の経営環境、新事業展開に関する経営課題 | 【応募理由について】①応募のきっかけ□ 関東経産局WEBサイト　□ 金融機関からの紹介（金融機関名：　　　　　　　）□ INPIT知財総合支援窓口からの紹介　□ 自治体からの紹介□ 商工会・商工会議所からの紹介（商工会・商工会議所名：　　　　　　　　　　　　 ）□ よろず支援拠点からの紹介□ お付き合いのある専門家からの紹介　□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）②応募に際しての熱意や背景等（自社が今後目指したい姿・目標にも触れてください。）③現在抱えている経営課題④新事業展開について抱えている課題⑤期待する支援内容下記よりご選択の上、具体的な内容をご記載ください。□既存技術を活かした新しい分野への展開をサポートしてほしい（IPLの実施など）。□新しい分野での製品開発をサポートしてほしい。□連携先を開拓してほしい。□その他希望する支援内容について（具体的にご記載ください） |

**５．知財戦略**

|  |  |
| --- | --- |
| 知財戦略の取り組み状況 | 1. 下記いずれかにおいて課題がある項目を選択してください。

□知財戦略策定□新事業創出□知財体制強化1. 上記①で選択した項目の取り組み状況やその課題を記載してください。
2. 知財管理・戦略策定を実行する部門、及び関連する部門を記載してください。

以降④～⑦は、①の課題がある項目で「新事業創出」を選択した場合は記載ください1. 新事業展開にあたり、進出したい業種とその理由を記載してください。
2. 競合他社の存在（認識している競合他社の存在有無、自社との違い等を記載してください。）
3. 新事業展開にあたり、活かしたい自社の強みを記載してください。
4. 新事業展開にあたっての知的財産[[1]](#footnote-1)の活用方針を記載してください。（検討中の内容でも構いません）

例：これまで主要な事業分野であった自動車やディスプレイ用のステッカー製造技術で保有している特許技術を活用し、女性向けネイルシールの開発、販売に取り組みたい。ネイルシールの市場規模は年間●●●億円程度である。自社で開拓した販路から、年間△△△千万円程度の売上を見込んでいる。・・・・ |

**６．体制**

|  |  |
| --- | --- |
| 支援参加者 | （採択された場合に貴社から参加するメンバーを記載してください。部署・役職・氏名等） |
| 本事業参画にあたっての経営層の認識 | 本事業の趣旨についてどの程度経営層にご理解いただいていますか。なお、本事業の最終回では調査結果の活用方針について議論するため、伴走支援には経営層または経営層に準ずる方にご参加いただくことを強く推奨しています。あてはまるもの一つにチェックしてください。□　事前に趣旨を説明し、事業の趣旨に十分に賛同が得られたうえで支援に参加する。□　事前に趣旨を説明し、事業の趣旨にある程度賛同が得られたうえで支援に参加する。□　事業の趣旨にあまり賛同が得られなかったが、支援には同席する。□　事業の趣旨にあまり賛同が得られず、支援には同席しない。 |
| 伴走支援の実施場所 | 伴走支援の際に貴社に訪問させていただく際の訪問先をご記入ください□　1. で記載した企業の所在地と同一である□　1. で記載した企業の所在地と異なる（住所、施設名を下記にご記載ください）住所：施設名： |

**７．その他**

|  |  |
| --- | --- |
| その他関心のあるテーマがあれば選択してください | （あてはまるものすべてにチェック）□　自社の強みの見える化・棚卸　　□　自社の強みを適切に守る戦略□　自社の強みのさらなる発展・用途展開等　　□　ブランド力強化□　デザイン経営・活動　　□ 新製品・サービス開発／新規事業開発　　□　販路開拓□　ビジネスモデル構築　　□　コーポレートガバナンスコードへの対応　　□　海外展開　　□　社内体制強化　　□　市場調査　□　M&Aによる企業連携　□　資金、人材、設備、技術確保□　DX　　□GX□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| WEB会議対応 | 採択後における状況次第では、WEB会議形式を採用する可能性があります。貴社の状況について、以下の中から当てはまるもの全てにチェックしてください。（支援は原則対面での実施を想定しておりますが、オンライン開催の可能性を加味しお伺いします）□　Teamsを使用可能　　　□　その他、使用可能なWEB会議ツールがある（具体的に：　　　　　　　　　　）□　Teamsの使用経験がないが、採択されたら必要に応じて使用したい□　いずれも使用不可 |

**８．応募前のチェックリスト**

□　本申込書の内容について、事務局から問い合わせ・個別面談依頼等があった場合、対応することに了承する。

□　2026年２月までに6程度の専門家による支援を受けることに了承する。

□　伴走支援には原則対面で参加することができる。

□　機密情報を除いたうえで、支援内容を事例集として紹介することに了承する。
※公表前に事前確認をしていただきます

□　依頼があった場合、成果報告会（2026年2月頃開催予定）での発表を行うことに了承する。

□　支援内容を記録した書類を、支援参加企業内で共有することに了承する。

□　その他、公募要領に記載された応募要件や個人情報保護方針等に了承したうえで応募する。

□　本事業は経営に直結する活動となるため、現経営者または経営者に準ずる者は各節目（キックオフ、中間報告、最終報告）の回に参加することを了承する

□　本支援はあくまでも助言・アドバイスの範囲に限定されるものであるため、企業自らが主体的に取り組んで活動することを了承する

＜応募に際してのお問い合わせ先＞

応募に際してのご不明点や面談依頼等がございましたら、以下、事務局までご連絡をお願いいたします。

令和7年度知財を企業の強みに！「稼ぐ力」向上プロジェクト事務局

（有限責任監査法人トーマツ内）

担当：根本幸大、キムジユン、西田那奈、福井裕明

〒100-8360 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号　丸の内二重橋ビルディング

E-mail: kanto-chizai\_2025@tohmatsu.co.jp

電話番号：03-6213-1251（大代表）

1. 本事業において知的財産とは知特許権、商標権、著作権等の知的財産権の他に下記を含み、広く定義する。

ブランドや営業秘密、ノウハウ等（知的財産）

人的資産、組織力、経営理念、顧客とのネットワーク、技能等（知的資産） [↑](#footnote-ref-1)